

母性看護学実習

ナンバリング:N3-S1-H04

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	実習/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある母子とその家族を対象に、その身体的・心理社会的特性をとらえながら、各期における健康を保持・増進するための具体的な看護のあり方について体験的に学修する。また、各学生が立案した看護過程を共有し、広く母性看護の役割について考察する。具体的には、受け持ち事例に対する看護過程の展開を通し、基本的なアセスメントの視点を習得する。また、立案した看護計画を実施・評価しながら、必要な看護援助について実践的に学ぶ。そしてカンファレンスを通じ、各自の学びを共有する。

・教育成果(アウトカム)

妊娠期・分娩期・産褥期、および新生児期に対する健康の保持増進と疾病を予防する看護援助方法の実施に向け、個々の対象者の健康状態を観察やコミュニケーションなど対象者との相互作用を通して把握することができるようになる。また、収集した情報をもとに個々の対象者の状態に応じた看護援助方法を選択、実施することができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 妊婦・産婦・褥婦、および新生児の経過に応じた健康状態を説明できる。
2. 多様な価値観や生活背景を持つ人を尊重する行動をとることができる。
3. 看護の実施にあたり、妊産褥婦の意思決定を支援することができる。
4. 看護の対象となる人々との信頼関係の形成に必要なコミュニケーションを展開できる。
5. 妊婦・産婦・褥婦、および新生児とその家族の生活を把握し、健康状態との関連をアセスメントできる。
6. 妊婦・産婦・褥婦、および新生児の健康を保持増進するために必要な看護援助方法を指導のもとに実施できる。
7. 退院後に母子が活用できる保健サービスについて理解できる。
8. 実習を通して自己の看護を省察し、自己の課題を踏まえながら母性看護における看護師の役割を述べることができる。

・実習日程

日程	各グループの実習期間は実習要項等に記載する。
担当教員	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師

授業内容/到達目標	<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期における健康状態の観察と看護援助の実施 2. 分娩期における健康状態の観察と看護援助の実施 3. 産褥期における健康状態の観察と看護援助の実施(看護過程の展開) 4. 新生児期における健康状態の観察と看護援助の実施(看護過程の展開) 5. 妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期における看護の役割についてのディスカッション <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:60分/日】妊娠期・分娩期・産褥期、および新生児期の健康状態を把握するための観察項目、基本的な看護援助方法について、教科書や配布資料、ノート等で十分な復習を行う。さらに、翌日の実習予定と自身の課題に基づいた予習を行う</p> <p>【事後学修:60分/日、最終日は360分/日】その日の実習内容を振り返りながら実習記録を記載する。自身の課題を明確にし、翌日の予習につなげる。最終日については、全実習内容を振り返り、到達目標8について学びを整理し、自身の現状と課題をまとめる。実習終了後記録物の提出は、看護学部教務課事務室に提出。レポートはWebClassにて提出する。</p>
-----------	--

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(1) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 第3版	中込さと子 他 編	メディカ出版	2024
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(2) 母性看護の実践 第3版	小林康江 他 編	メディカ出版	2024
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(3) 母性看護技術 第6版	荒木奈緒 他 編	メディカ出版	2024

・成績評価方法

【総括的評価】課題(実習記録)70%、その他30%にて評価する(詳細は実習要項に記載)。
【形成的評価】提出された記録や面談等を通じて日々の理解度を確認し、要点の振り返りやフィードバックを行う。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1-5,8	1~8			70			30	100
合計		0	0	70	0	0	30	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
提出された記録物等については、適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
助産師(別表2):臨地実習 助産学実習
看護師(別表3):臨地実習 母性看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
当該科目に関連する実務経験の有無 有
分娩取扱医療機関等で助産師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			